

ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況

2005年6月21日

2005年6月19日概況：

6月12日に終わる1週間の気象は、週の終りになり気温が上昇し乾燥気象となった。平均気温は各地で平年を2~5度上回り、各地の最高気温は84~88度Fとなった。最低気温は48~58(SE地区)であった。1週間の各地の平均降水量は、NW地区では0.27インチ、EC地区では0.90インチ、SW地区では1.13インチであった。1週間の州平均農作業稼働日数は4.5日(前週:3.0日)となった。除草剤散布が進んだ。Topsoil及びSubsoil水分は“過剰”が減り“適”が多少増えた。Topsoil水分は5年平均より良好であり、Subsoil水分は平年並みに近付いた。

気温の上昇が春小麦の生育を助けた。HRSの28%が穂孕み期(昨年:22%、5年平均:25%)、そして4%が出穂した。出穂は昨年並びに平年より遅れ気味。Durum小麦は例年より早い生育状況となった。全体の10%が穂孕みし、2%が出穂した。HRSの作柄は“Excellent”が前週より多少増えたが、全体に評価が落ちた。Durumの作柄評価は前週より上がった。

土壌水分：2005年6月19日現在

	This Week	Last Week	Last Year	5-Yr Average
Topsoil				
Very Short (%)	0	0	11	7
Short (%)	2	4	10	12
Adequate (%)	70	81	53	67
Surplus (%)	28	15	26	14
Subsoil				
Very short (%)	2	2	14	6
Short (%)	6	11	14	15
Adequate (%)	64	75	51	67
Surplus (%)	26	12	21	12

小麦生育状況：2005年6月19日現在

	This week	Last week	Last year	5-Year Ave.
Durum Wheat				
Emerged (%)	96	83	76	88
Jointed (%)	16	8	19	16
Headed (%)	1	0	4	3
HRS Wheat				
Emerged (%)	98	94	93	95
Jointed (%)	40	19	36	38
Boot (%)	6	0	8	9
Headed (%)	0	NA	1	1

HRS小麦の作柄：2005年6月19日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This Week (%)	1	2	13	61	23
Last Week (%)	0	1	14	65	20

Durum 小麦の作柄状況：2005年6月19日現在：

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This Week (%)	0	1	9	82	8
Last Week (%)	0	1	13	80	6

Source: ND Agricultural Statistics Service

2005年3月31日の農務省の予想では、ノースダコタ州の2005年産HRSの作付面積予想は、6,900,000エーカーであり、昨年(6,200,000エーカー)の11%増であった。Durumの作付予想は1,850,000エーカー(昨年：1,750,000エーカー)であった。

全米の春小麦の作付けは、昨年比で増加傾向である。

当該作柄レポートへのご質問・ご意見は下記宛てにお願い致します。

小川正晃：E-mail ogawa.max@omicnet.com